

2010.SUMMER

小さなアリエッティの物語が始まる。



企画：宮崎駿
監督：米林宏昌
原作：メアリー・ノートン「床下の小人たち」
主題歌：セシル・コルベル「Arrietty's Song」
配給：東宝

借りぐらしのアリエッティ

<http://karigurashi.jp/>

ジブリの長編劇場アニメーション映画としては2008年『崖の上のポニョ』の以来となる同作。1953年に発表されたイギリスの女性作家メアリー・ノートンによる児童文学『床下の小人たち』が原作となっており、さまざまな生活用品を拝借しながら人間の家の床下で暮らす小さなアリエッティ一家が、その家に引越してきた男の子に姿を見られたことから起こる騒動を描く。



『借りぐらしのアリエッティ』

2010年夏公開予定

監督：米林宏昌

企画：宮崎駿

原作：メアリー・ノートン『床下の小人たち』

主題歌：セシル・コルベル

アニメーション制作：スタジオジブリ

配給：東宝

12月19日からは、セシル・コルベルが歌う主題歌“Arrietty's Song”の配信もスタート。

『床下の小人たち』の映画化は、宮崎駿と高畑勲が40年近く前に考えた企画とのこと。

イギリスの古風な家の床下に住む小人の一家。生活に必要なものはすべて、こっそり人間から借りて暮らしていましたが、ある日、小人の少女がその家の男の子に見られてしまいます。カーネギー賞を受賞した、イギリスファンタジーの傑作。「小人シリーズ」の第1作。

床下に「ちいさい人たちが」こっそりと暮らしていたら…。『The Borrowers』（邦題『床下の小人たち』）はそんなわくわくするような物語。1953年の出版以来数えきれないほどの読者を魅了し、カーネギー賞、ルイス・キャロル・シェルフ賞、アメリカ図書館協会賞を受賞した名作である。著者メアリー・ノートンが考え出したのは、イギリスの古風な家の床下に住む小人たちのおはなしだ。

ポッド、ホミリー、ちいさなアリエッティのクロッカー一家は小人の3人家族。床下に住居を構え、「人間（ニンゲン）」から食べ物や生活用品を「借りて」暮らしている。マッチ箱で作ったタンズ、郵便切手の絵画…。頭をはたらかせ、日常のなにげないものをリサイクルして使う「借り暮らし」の様子は読んでいて本当に楽しい。こんな例もある。「ホミリーが“朝のぶらつき”用に、手袋の指2本分で、トルコ風半ズボンを作ってくれたこともありました」

しかし長い間続いた「借り暮らし」生活も、古風な家に1人の男の子がやってきたことから一変する（しかもペットの白イタチまでやってきたのだ！）。好奇心旺盛なアリエッティはその男の子に姿を見られるという、もっとも致命的なミスをしてしまう。はらはらする冒険も交えたこの魅力たっぷりの物語、語るはお話し上手なメイおばさん。実は何十年も前にあの家で「借り暮らし」していた張本人と思われる、男の子のお姉さんである